

新規事業評価調書
【河川事業】

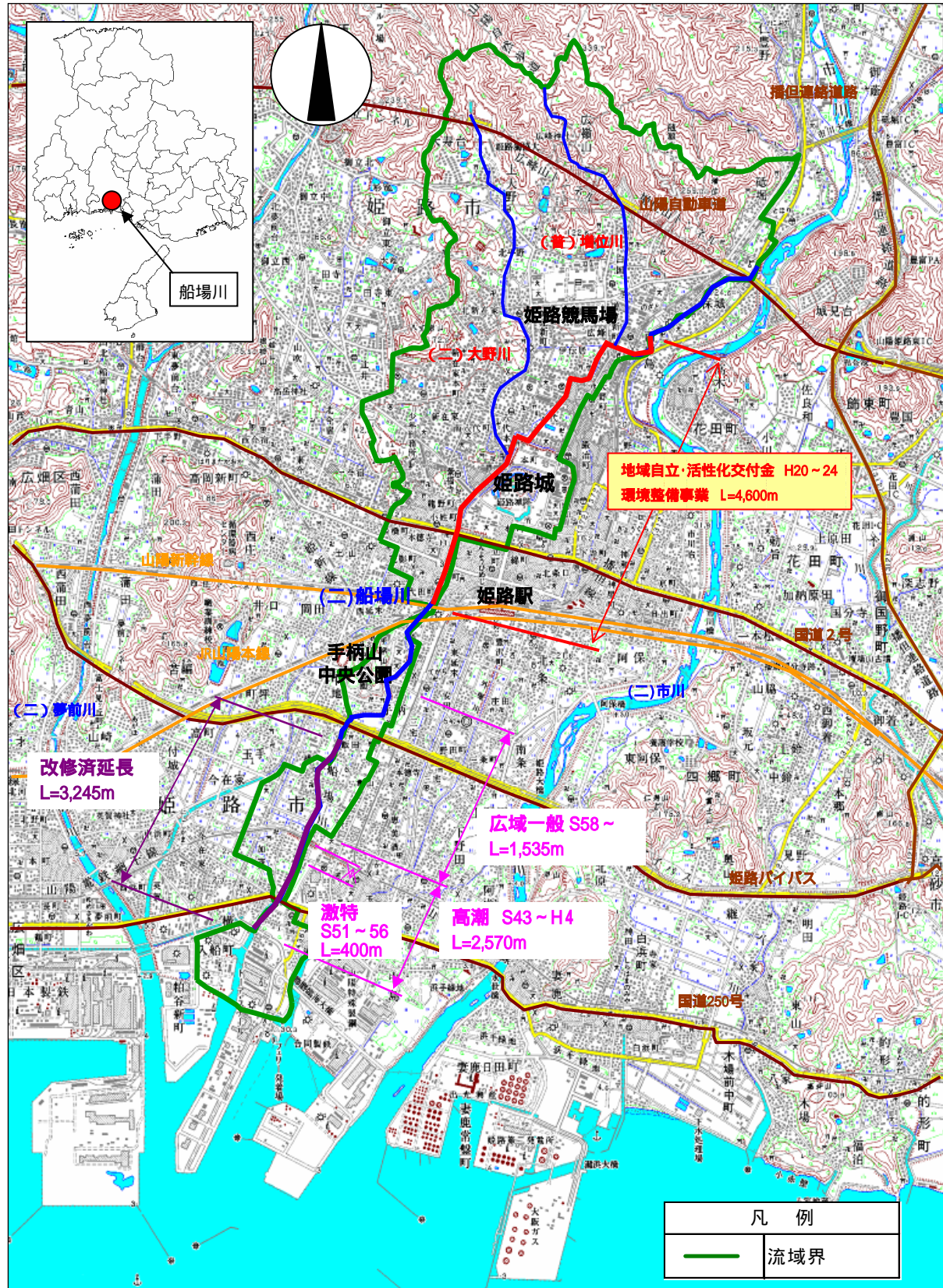
土木局河川整備課


投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部 土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 森脇 康仁 (課長補佐兼都市河川係長 寒川 美樹)	内線	4408 (4417)
------	--------------------	---------------------	-------------------------------------	----	----------------

事業種目	河川事業	事業名	事業区間	総事業費	3億円
		地域自立活性化・交付金事業	姫路市千代田町 ～西中島	内用地補償費	-
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
姫路市			H20	H20	H24
事業目的			事業内容		
<p>(二)船場川の当該区間は、河川断面が狭いため、平成16年10月の台風23号など幾度の浸水被害に見舞われており、早期の対応が必要である。当事業により護岸工や堆積土砂撤去等を行うことにより流下能力向上を図り、地域の安全・安心を確保する。</p> <p>併せて姫路城及び周辺地区の歴史的な街並みと一体となって、地域全体の観光活性化等、地域の魅力の向上を図るための環境整備を行う。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・護岸工 L = 1,500m ・堆積土砂撤去等 L = 1,420m ・取水工 1式 <p>[負担割合 国:4.5/10 ,県: 5.5/10]</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域は、平成16年10月の台風23号で浸水戸数179戸の多大な被害が発生したのをはじめ、昭和51年9月台風17号や平成2年台風19号でも甚大な被害が発生するなど過去幾度も浸水被害に見舞われている。 ・JR山陽本線や国道2号などの主要な交通基盤が位置し、人家や商業施設、世界文化遺産の姫路城など資産が集中する当該地域において、浸水被害による経済的な損失は多大なものであることから、早期に浸水被害の解消を図る必要がある。 ・また、当該地域では、姫路城や周囲の歴史的な街並みを活かした環境整備を姫路市が主体となって進めており、これらの取り組みと一体となって、地域全体の観光活性化、地域の魅力の向上を図るため、環境整備もあわせて行う必要がある。 				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業を行うことにより、今後予定している洪水調整池とあわせ平成16年台風23号洪水と同規模の洪水に対して、浸水被害の解消を図ることが出来る。 ・地域住民や児童・生徒による河川清掃活動やイベントの開催、ホタル再生の取り組みやホタル保護の啓発を行うなど船場川に対する地元の関心が高く円滑な事業の執行が可能である。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路市街地における数少ないホタルの生息地が存在するため、ホタルの生息環境に配慮した整備を行う。 ・堆積した土砂を撤去し、河川及び周辺の環境の向上を図る。 ・姫路城及び周辺地区の歴史的な景観に配慮した護岸を整備する。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域は流域の中で特に浸水頻度の高い地域であり、早期に浸水被害解消を図り、地域の安全・安心を確保するため優先性は高い。 ・現在、姫路城及び周辺地区において進められている環境整備とあわせ整備すると効果的であり、事業の優先性は高い。 				

計画平面図



凡例	
	流域界